

## < 気になるよそ様の数値 2年後の今 >

WiseFAXNET2003.2月号で「2年後の今」と題して収益性の指標について取り上げてみましたが、その後横道にそれてしまいました。今回は、流動性の指標について、2000年11月のデータと2002年9月のデータを比較してどのように変化しているか見てみましょう。

図1は必要運転資金月商倍率(X4)の分布図、図2は立替工事高比率(X5)の分布図、図3は受取勘定月商倍率(X6)の分布図です。2000年11月のデータは195,842社で2002年9月のデータは218,005社でデータ数が違うので、分布図は全体に占める割合で表しています。

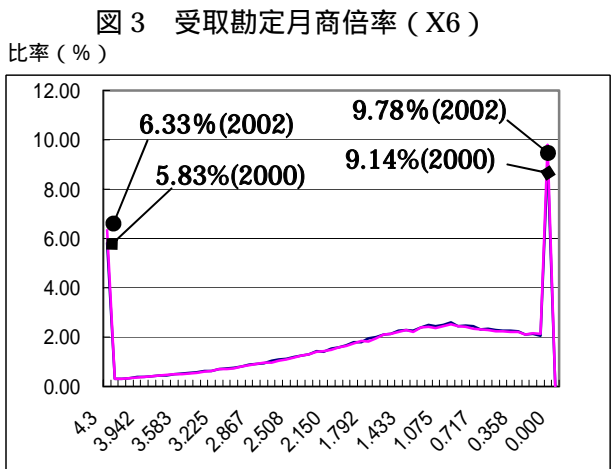
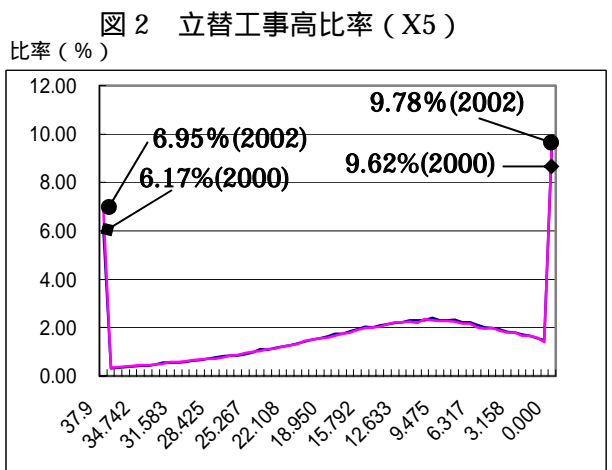
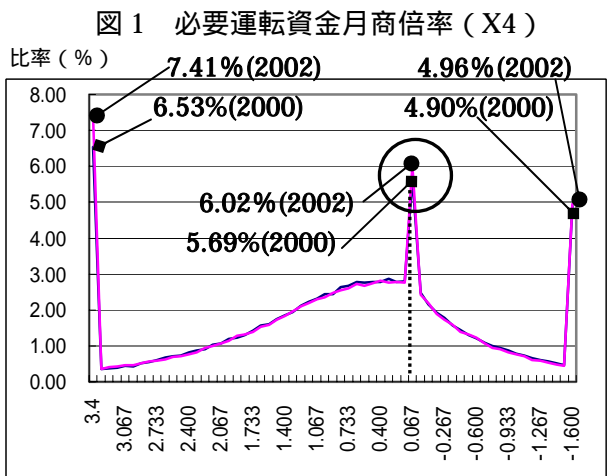
流動性の指標は毎期金額が変わるので、決算期のたびに気が抜けません。収益性の指標が悪くなっているのに、せめて流動性の指標でよい点を取りたいものですが、この指標でもなかなかうまくいかないようです。下限値の企業数の割合は、X4では6.53%から7.41%に、X5は、6.17%から6.95%に、X6は、5.83%から6.33%にそれぞれ増加しています。景気低迷の中、資金回収もうまくいかないようです。また、X4では、以前より中央の山が高くなっています。中央の山の数値0.067は、5.69%から6.02%に増えています。売上債権+未成工事支出金=仕入債務+未成工事受入金になるようにして資金繰りを行っている会社が増えていることを示しています。必要運転資金がマイナスの会社が減っていることで、しだいに運転資金に余裕がなくなってこの地点でとどまっているとみられます。

しかし、上限値の企業数の割合も若干増えているのです。X4では4.90%から4.96%に、X5は、9.62%から9.78%に、X6は、9.14%から9.78%(集計上の都合で数値0.072以上の会社数)にそれぞれ増加しています。流動性の指標の改善に成功している会社と失敗している会社とに二極化されています。

新しい経営状況分析評点(Y点)が平成11年に改正されてからすでに4年が過ぎています。新しい環境に順応している企業とそうでない企業との差が出ています。この4年間の取り組みを振り返ってみましょう。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

今月のひとくち **MEMO** 上記のX4からX6に対する主な対策が、「Wisdom2003点数アップシミュレーションシステム」に盛り込まれています。お持ちの方はシステム内のメニュー[ヘルプ]-[点数アップマニュアル]をご覧ください。



分布図については、ワイズホームページよりダウンロードできます。 <http://www.wise.co.jp/>

新しい算出方法での対策は既にお済みですか？ワイズダムならすぐに計算可能です。ワイズの「Wisdom2003 経審点数計算システム」でいまずすぐに経審対策をはじめよう。

Wisdom 訪問デモ希望(無償)  
 Wisdom 資料請求(無償)  
 送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)  
 今後「Wise FAXNET」送信不要  
 今後「Wise FAXNET」メール送信に変更希望

デモ希望、資料請求、送信先宛名変更、送信停止は、必要事項をご記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

**FAX.0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX
今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入ください。	
e-mail	

「Wise FAXNET」は経審対策/書類作成システム「Wisdom(ワイズダム)」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求(99年2月号~)は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードできます(7月号は8月2日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp>